

記載例(既存事業者用(飲食業))

振興事業促進支援融資制度に係る事業計画書

事 項		内 容	
振興計画上の位置付け		衛生に関する知識及び意識の向上・禁煙等に関する対策	
生産性向上に係る事業計画書の有無		有 (裏面参照：低減利率 0.30%)	無 (表面のみ：低減利率 0.15%)
本事業計画の目標達成期間		平成31年4月1日～令和4年3月31日 (3年間)	
現状分析	立地条件	駅前に立地	
	主な顧客	サラリーマン、OL、子供連れの女性	
	お店の特徴	契約農家から安全な食材を取り寄せている。	
	お店の強み	駅前に近いので立地条件は良い。	
経営課題 (何が問題となっているか)		店舗の老朽化。 景気の低迷による売上高の伸び悩み。 女性向けカフェなどライバル店の出現 店内喫煙可であることによる女性客の減少。	
経営課題の解決策		仕入商品の見直しや、人件費等経費の削減。 店舗を改修し、明るく衛生的なイメージに。 厨房設備を改修し、従業員が効率的に作業を行えるようにする。 ランチタイムの禁煙。	
経営課題の解決の為に必要な費用		運転資金 設備資金 ※○をつける 借入内容 店舗改修(老朽化対策・厨房設備改修、禁煙化対策) 内 訳 (見積書 別添) 店舗改修費用 ○○千円 換気設備取替 ○○千円 合計 ○○千円 (詳細は借入申込書参照)	
資金調達計画		・自己資金 ○○千円 ・日本公庫 ○○千円	
期待される成果等 (売上の増加、来客数の増加、経費の縮減等できるだけ具体的に記載)		①新たな顧客の開拓(特に子供連れの女性) ②20%の売上増(特にランチの売上げ30%) ③作業しやすい店内に改装することで、人件費を削減 → ①～③の成果により、収益を3年以内に5%増加。	

平成31年4月〇〇日

下記の事業計画書を提出します(該当するものを☑してください。)

<input checked="" type="checkbox"/> 振興事業促進支援融資制度に係る事業計画書
<input checked="" type="checkbox"/> 生産性向上に係る事業計画書

(商号又は法人名) キッチン〇〇
 (住所又は所在地) 〇〇県▲▲市◇◇町1-2-3
 (事業主又は代表者名) 田中 花子 印

上記事業計画について、確認済みである。

会計書類は、青色申告書()を事業者において準備していることを確認した。

平成31年4月〇〇日

(組合名) 〇〇県飲食業生活衛生同業組合
 (理事長名) 中田 一郎 印

組合記入欄 (この欄は記入しないでください)	事業成果についての理事長の評価、所見等	年	月	日記載
---------------------------	---------------------	---	---	-----

(裏面)

生産性向上に係る事業計画書（振興事業促進支援融資制度）

1. 計画の内容（生産性向上ガイドライン・マニュアルに基づく取組み）

生産性向上ガイドライン・マニュアル上の位置づけ	
領域	分類（該当するもの全てに☑を付ける。）
収益向上	<input checked="" type="checkbox"/> 特長ある店舗・施設づくりで業績を改善しよう
	<input type="checkbox"/> 費用を削減して収益性を高めよう
	<input type="checkbox"/> ICTを活用して集客力を高めよう
顧客満足向上	<input checked="" type="checkbox"/> お客様の満足度を高めよう
	<input checked="" type="checkbox"/> 優良顧客を増やそう
	<input type="checkbox"/> インバウンドのお客様を増やそう
	<input type="checkbox"/> 従業員のスキルとやる気を高めよう
労働環境改善	<input checked="" type="checkbox"/> 作業しやすいお店・職場にしよう
	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的に作業しよう
	<input type="checkbox"/> 人的ミス（ヒューマンエラー）をなくそう

2. 生産性向上の目標

計画期間 (注1)	平成31年4月1日 ~ 令和4年3月31日（3年間）
--------------	----------------------------

領域	具体策	現状 (注2)(注3)	計画期間終了後 (注2)
収益向上	・ランチタイムを禁煙にし、子供連れの女性客を取り込むことで売上増加につなげる。 ・店内を明るく清潔なイメージにし、新規顧客を取り込むことで売上増加につなげる。	売上 3,000千円/月	売上 3,600千円/月 (現状より20%増加)
顧客満足向上	・店舗リニューアルにより、顧客満足度を高め、優良顧客を増やすとともに、リピーター率を高める。	リピーター割合 20%	リピーター割合 25%
労働環境改善	・店内に加え、厨房も改修工事を行う。特に水回りを今より広くして、1名から2名で対応できるようにし、効率的に作業できるようにする。	人件費 75万円/月	人件費 71万円/月 ※時給800円の従業員 1名、2時間/日削減可 800円×2時間×25日 =4万円の削減

	現状(注3)	計画期間終了後
営業利益	〇〇〇千円	〇〇〇千円

(注1) 計画期間は「振興事業促進支援融資制度に係る事業計画書」の「本事業計画の目標達成期間」を記載してください。

(注2) 可能な限り、数値を用いてご記載ください。

(注3) 創業前及び創業後1年未満の場合は、見込を記載してください。

3. 実施にあたり、指導を受けている経営指導員等の専門家がいる場合は、その専門家の所属・名前

(所属している機関名)	〇〇県飲食業生活衛生同業組合
(担当者名)	佐藤 次郎

記載例(既存事業者用(美容業))

振興事業促進支援融資制度に係る事業計画書

事項	内容	
振興計画上の位置付け	人材育成・自己啓発の推進に対する対策	
生産性向上に係る事業計画書の有無	有 (裏面参照：低減利率 0.30%)	無 (表面のみ：低減利率 0.15%)
本事業計画の目標達成期間	平成31年4月1日～令和5年3月31日(4年間)	
現状分析	立地条件	駅から徒歩10分弱。大通りから一本入った公園の前に位置。
	主な顧客	女性と若い男性
	お店の特徴	開業して3年目
	お店の強み	大通りの一本裏なので静かな雰囲気。席から公園の緑が観られる。
経営課題 (何が問題となっているか)	新規客が頭打ち。 「サービスの質」と「卓越した技術」を売りにする必要あり。 今年、低価格カット店が駅前に出店した。 従業員のさらなる技術の向上と新技術の習得が必要。	
経営課題の解決策	従業員を研修に参加させ、新しい技術や接客などを習得させる。 ヘッドスパメニュー、メイクメニュー等、新規メニューを追加する。	
経営課題の解決のために必要な費用	運転資金 〇〇千円 設備資金 ※該当するものに〇をつける 借入内容 研修費用ほか 内訳 従業員研修費用 〇〇千円(見積書 別添1) 合計 〇〇千円(詳細は借入申込書参照)	
資金調達計画	・自己資金 〇〇千円 ・日本公庫 〇〇千円	
期待される成果等 (売上の増加、来客数の増加、経費の縮減等できるだけ具体的に記載)	新メニューについて地元フリーペーパーに広告を掲載。新規顧客を獲得し、売上〇%増を目指す。 接客を良くし固定客の満足度をアップさせることで、来店回数の増が期待できる。	

平成31年4月〇〇日

下記の事業計画書を提出します(該当するものを☑してください。)

- 振興事業促進支援融資制度に係る事業計画書
 生産性向上に係る事業計画書

(商号又は法人名) 〇〇美容室
 (住所又は所在地) 〇〇県▲▲市◇◇町1-2-3
 (事業主又は代表者名) 鈴木 美子 印

上記事業計画について、確認済みである。

会計書類は(青色申告書) その他()を事業者において準備していることを確認した。

平成31年 4月 〇〇日

(組合名) 〇〇県美容業生活衛生同業組合
 (理事長名) 木鈴 八太 印

組合記入欄 (この欄は記入しないでください)	事業成果についての理事長の評価、所見等	年 月 日記載
---------------------------	---------------------	---------

(裏面)

生産性向上に係る事業計画書（振興事業促進支援融資制度）

1. 計画の内容（生産性向上ガイドライン・マニュアルに基づく取組み）

生産性向上ガイドライン・マニュアル上の位置づけ	
領域	分類（該当するもの全てに☑を付ける。）
収益向上	<input checked="" type="checkbox"/> 特長ある店舗・施設づくりで業績を改善しよう
	<input type="checkbox"/> 費用を削減して収益性を高めよう
	<input type="checkbox"/> ICTを活用して集客力を高めよう
顧客満足向上	<input checked="" type="checkbox"/> お客様の満足度を高めよう
	<input type="checkbox"/> 優良顧客を増やそう
	<input type="checkbox"/> インバウンドのお客様を増やそう
	<input checked="" type="checkbox"/> 従業員のスキルとやる気を高めよう
労働環境改善	<input type="checkbox"/> 作業しやすいお店・職場にしよう
	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的に作業しよう
	<input type="checkbox"/> 人的ミス（ヒューマンエラー）をなくそう

2. 生産性向上の目標

計画期間 (注1)	平成31年4月1日 ~ 令和5年3月31日（4年間）
--------------	----------------------------

領域	具体策	現状 (注2)(注3)	計画期間終了後 (注2)
収益向上	ヘッドスパメニュー、メイクメニュー等の新規メニューを追加することで、近隣の同業他社との差別化を図り、新規顧客を獲得する。	新規メニューでの売上0	新規メニューの売上が売上全体に占める割合を20%まで高める。
顧客満足向上	従業員を積極的に外部研修に参加させ、新しい技術の習得や接遇の向上を図ることで、顧客満足度を高め、顧客のリピーター化を図る。	リピーター割合50%	リピーター割合60%
労働環境改善	HP上での予約受付を開始し、従業員が電話対応に追われる時間を削減する。	電話予約：80% 店頭予約：20%	HP予約：40% 電話予約：50% 店頭予約：10%

	現状（注3）	計画期間終了後
営業利益	〇〇〇千円	〇〇〇千円

(注1) 計画期間は「振興事業促進支援融資制度に係る事業計画書」の「本事業計画の目標達成期間」を記載してください。

(注2) 可能な限り、数値を用いてご記載ください。

(注3) 創業前及び創業後1年未満の場合は、見込を記載してください。

3. 実施にあたり、指導を受けている経営指導員等の専門家がいない場合は、その専門家の所属・名前

(所属している機関名)	△△△県生活衛生営業指導センター
(担当者名)	山田 太郎

記載例(既存事業者用(クリーニング業))

生産性向上に係る事業計画書「無」の場合(裏面の記入は不要)

振興事業促進支援融資制度に係る事業計画書

事項		内容	
振興計画上の位置付け		新規顧客の獲得・確保に関する対策	
生産性向上に係る事業計画書の有無		有 (裏面参照: 低減利率 0.30%)	無 (表面のみ: 低減利率 0.15%)
本事業計画の目標達成期間		令和元年5月1日 ~ 令和3年4月30日 (2年間)	
現状分析	立地条件	駅前商店街の中。45年間営業。新しく家族向けマンションが建ち分譲中。	
	主な顧客	近隣住民で、創業以来の顧客が殆ど。	
	お店の特徴	老朽化が目立つ。	
	お店の強み	「Sマーク」登録店。商品の集配が大変好評。	
経営課題 (何が問題となっているか)		低価格を売り物とする全国チェーン店が進出。顧客を取られている。 昔からの顧客は多いが、新規の顧客が増えない。	
経営課題の解決策		店の改修を行い、イメージの一新を図る。 「Sマーク」登録店であることを最大限にアピール。 改装後、お店の広告をポスティングすることで、新規顧客の開拓を図る。	
経営課題の解決のために必要な費用		運転資金 設備資金 ※○をつける 借入内容 店舗改修費用一式 広告印刷代金 内訳 店舗改修費用 ○○千円(見積書 別添1) 印刷代金 ○○千円 設備導入費用 ○○千円(見積書 別添2) (見積書 別添3) 合計 ○○千円(詳細は借入申込書参照)	
資金調達計画		・自己資金 ○○千円 ・日本公庫 ○○千円	
期待される成果等 (売上の増加、来客数の増加、経費の縮減等できるだけ具体的に記載)		新規顧客を獲得し、売上ベースで前年度比5%増を目指す。 高齢者には集配等でフォローして満足度のアップと売上高の増を見込む。	

平成31年4月〇〇日

下記の事業計画書を提出します(該当するものを☑してください。)

振興事業促進支援融資制度に係る事業計画書
 生産性向上に係る事業計画書

(商号又は法人名) △□クリーニング店
 (住所又は所在地) ○○県▲▲市◇◇町1-2-3
 (事業主又は代表者名) 山田 一郎 印

上記事業計画について、確認済みである。

会計書類は、**青色申告書** その他()を事業者において準備していることを確認した。

平成31年4月〇〇日

(組合名) ○○県クリーニング業生活衛生同業組合
 (理事長名) 中田 一郎 印

組合記入欄 (この欄は記入しないでください)	事業成果についての理事長の評価、所見等 年 月 日記載
---------------------------	--------------------------------

記載例(創業者用(飲食業))

振興事業促進支援融資制度に係る事業計画書

事 項		内 容	
振興計画上の位置付け		経営マネジメントの合理化及び効率化・営業者及び従業員の技能の向上に関する事業	
生産性向上に係る事業計画書の有無		有 (裏面参照：低減利率 0.30%)	無 (表面のみ：低減利率 0.15%)
目標達成期間		令和元年 1 1 月 1 日～令和 3 年 1 0 月 3 1 日 (2 年間)	
現状分析	立地条件	駅前に立地	
	主な顧客	サラリーマン、OL、観光客(インバウンドを含む。)	
	お店の特徴	契約農家から安全な食材を取り寄せる。	
	お店の強み	駅前に近いので立地条件は良く、観光スポットへのアクセスも至便	
経営課題 (何が問題となっているか)		競合過多 少子高齢化・人口減少 人材育成 効率的な店舗オペレーションの構築	
経営課題の解決策		リーズナブルなランチメニューを導入し、口コミやSNSによる顧客確保 休日の観光客向けに地元の食材を利用したメニューの考案 システムキッチン、キャッシュレス対応のレジ ヘルシーメニューの導入。総カロリー表示、塩分量表示。	
経営課題の解決の為に必要な費用		運転資金 設備資金 ※○をつける 借入内容 店舗内装、厨房設備、キャッシュレス対応レジ、人件費等諸経費 内 訳 店舗内装費用 ○○千円(見積書 別添1) 設備導入費用 ○○千円(見積書 別添2) 人件費等諸経費 ○○千円(創業計画書) 合 計 ○○千円(詳細は借入申込書参照)	
資金調達計画		・自己資金 ○○千円 ・日本公庫 ○○千円	
期待される成果等 (売上の増加、来客数の増加、経費の縮減等できるだけ具体的に)		①売上：(平日月商○千円+休日月商○千円)×12ヶ月=○千円 ②回転率：平日平均0.8回転、休日平均1.2回転 ③営業利益率：原価率○%以内、人件費・家賃等固定費○%以内 → ①～③の成果により、2年以内に収益率○%を達成	

令和元年 1 1 月 ○○日

下記の事業計画書を提出します(該当するものを☑してください。)

- | |
|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 振興事業促進支援融資制度に係る事業計画書 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 生産性向上に係る事業計画書 |

(商号又は法人名) ビストロ○○
 (住所又は所在地) ○○県▲▲市◇◇町 1-2-3
 (事業主又は代表者名) 田中 一郎 印

上記事業計画について、確認済みである。

会計書類は、青色申告書(その他(創業計画書))を事業者において準備していることを確認した。

令和元年 1 1 月 ○○日

(組合名) ○○県飲食業生活衛生同業組合
 (理事長名) 中田 花子 印

組合記入欄 (この欄は記入しないでください)	事業成果についての理事長の評価、所見等	年 月 日	記載
---------------------------	---------------------	-------	----

(裏面)

生産性向上に係る事業計画書（振興事業促進支援融資制度）

1. 計画の内容（生産性向上ガイドライン・マニュアルに基づく取組み）

生産性向上ガイドライン・マニュアル上の位置づけ	
領域	分類（該当するもの全てに☑を付ける。）
収益向上	<input checked="" type="checkbox"/> 特長ある店舗・施設づくりで業績を改善しよう
	<input type="checkbox"/> 費用を削減して収益性を高めよう
	<input type="checkbox"/> ICTを活用して集客力を高めよう
顧客満足向上	<input checked="" type="checkbox"/> お客様の満足度を高めよう
	<input type="checkbox"/> 優良顧客を増やそう
	<input checked="" type="checkbox"/> インバウンドのお客様を増やそう
	<input type="checkbox"/> 従業員のスキルとやる気を高めよう
労働環境改善	<input type="checkbox"/> 作業しやすいお店・職場にしよう
	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的に作業しよう
	<input type="checkbox"/> 人的ミス（ヒューマンエラー）をなくそう

2. 生産性向上の目標

計画期間 (注1)	令和元年11月1日 ~ 令和3年10月31日（2年間）
--------------	-----------------------------

領域	具体策	現状 (注2)(注3)	計画期間終了後 (注2)
収益向上	・リーズナブルなランチメニューを導入し、サラリーマンやOLを取り込む。 ・口コミやSNSによる集客に力を入れる。 ・休日には、地元食材をふんだんに使ったメニューを導入して、観光客を取り込む。	売上見込 2,800千円/月	売上見込 3,600千円/月
顧客満足向上	・キャッシュレス対応レジの導入で、インバウンドを含む顧客の利便性を向上させる。	インバウンド 新規顧客10名/月	インバウンド 新規顧客15名/月
労働環境改善	・店舗オープン時は厨房とホールで作業を分担するが、厨房とホールを兼務できるよう従業員教育を行い、効率的に作業ができるようにする。	人件費率 35%	人件費率 30%

	現状（注3）	計画期間終了後
営業利益	〇〇〇千円	〇〇〇千円

(注1) 計画期間は「振興事業促進支援融資制度に係る事業計画書」の「本事業計画の目標達成期間」を記載してください。

(注2) 可能な限り、数値を用いてご記載ください。

(注3) 創業前及び創業後1年未満の場合は、見込を記載してください。

3. 実施にあたり、指導を受けている経営指導員等の専門家がいない場合は、その専門家の所属・名前

(所属している機関名)	〇〇県飲食業生活衛生同業組合
(担当者名)	佐藤 次郎

記載例(創業者用(美容業))

振興事業促進支援融資制度に係る事業計画書

事 項		内 容	
振興計画上の位置付け		営業者及び従業員の技能の向上に関する事項	
生産性向上に係る事業計画書の有無		有 (裏面参照：低減利率 0.30%)	無 (表面のみ：低減利率 0.15%)
本事業計画の目標達成期間		平成30年11月1日～令和元年10月31日(1年間)	
現状分析	立地条件	駅から徒歩10分弱。大通りから一本入った公園の前に位置	
	主な顧客	女性と若い男性	
	お店の特徴	無料のカウンセリング、スカルプケアを実施	
	お店の強み	大通りの一本裏なので静かな雰囲気。席から公園の緑が観られる。	
経営課題 (何が問題となっているか)		「サービスの質」と「卓越した技術」を売りにする必要あり。 近隣に低価格カット店が進出し、競争激化 従業員のさらなる技術の向上と新技術の習得が必要 サービスメニューの充実	
経営課題の解決策		SNSでの積極的な情報発信だけでなく、サロン検索サイトで口コミを投稿した顧客への割引サービスを実施する。 従業員を研修に参加させ、新しい技術や接客などを習得させる。 ヘッドスパメニュー、メイクメニュー等、付加価値の高いメニューを追加する。	
経営課題の解決のために必要な費用		運転資金 設備資金 ※○をつける 借入内容 店舗内装、美容椅子、洗髪ユニット、人件費等諸経費 内訳 店舗内装費用 ○○千円(見積書 別添1) 設備導入費用 ○○千円(見積書 別添2) 人件費等諸経費 ○○千円(創業計画書) 合 計 ○○千円(詳細は借入申込書参照)	
資金調達計画		・自己資金 ○○千円 ・日本公庫 ○○千円	
期待される成果等 (売上の増加、来客数の増加、経費の縮減等できるだけ具体的に記載)		①売上：(平日月商○○千円+休日月商○○千円)×12ヶ月=○○千円 ②顧客単価等：新規顧客月10名以上、平均客単価6,000円以上 ③営業利益率：人件費・家賃等固定費○○%以内 → ①～③の成果により、○年以内に収益率○○%を達成	

平成30年11月○○日

下記の事業計画書を提出します(該当するものを☑してください)。

- 振興事業促進支援融資制度に係る事業計画書
 生産性向上に係る事業計画書

(商号又は法人名) ○○美容室
 (住所又は所在地) ○○県▲▲市◇◇町1-2-3
 (事業主又は代表者名) 鈴木 美子 印

上記事業計画について、確認済みである。

会計書類は、青色申告書(その他(創業計画書))を事業者において準備していることを確認した。

平成30年11月 ○○日

(組合名) ○○県美容業生活衛生同業組合
 (理事長名) 木鈴 八太 印

組合記入欄 (この欄は記入しないでください)	事業成果についての理事長の評価、所見等	年	月	日	記載
---------------------------	---------------------	---	---	---	----

(裏面)

生産性向上に係る事業計画書（振興事業促進支援融資制度）

1. 計画の内容（生産性向上ガイドライン・マニュアルに基づく取組み）

生産性向上ガイドライン・マニュアル上の位置づけ	
領域	分類（該当するもの全てに☑を付ける。）
収益向上	<input checked="" type="checkbox"/> 特長ある店舗・施設づくりで業績を改善しよう
	<input type="checkbox"/> 費用を削減して収益性を高めよう
	<input checked="" type="checkbox"/> ICTを活用して集客力を高めよう
顧客満足向上	<input checked="" type="checkbox"/> お客様の満足度を高めよう
	<input type="checkbox"/> 優良顧客を増やそう
	<input type="checkbox"/> インバウンドのお客様を増やそう
	<input type="checkbox"/> 従業員のスキルとやる気を高めよう
労働環境改善	<input checked="" type="checkbox"/> 作業しやすいお店・職場にしよう
	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的に作業しよう
	<input type="checkbox"/> 人的ミス（ヒューマンエラー）をなくそう

2. 生産性向上の目標

計画期間 (注1)	平成30年11月1日 ~ 令和元年10月31日（1年間）
--------------	------------------------------

領域	具体策	現状 (注2)(注3)	計画期間終了後 (注2)
収益向上	・カットだけでなく、ヘッドスパ等の付加価値の高いメニューを提供 ・SNSやサロン検索サイトを活用した集客強化	平均客単価 5,000円	平均客単価 6,000円
顧客満足向上	・無料カウンセリングやスカルプケアを実施し、顧客一人一人の状況に応じたサービスを提供	新規顧客月 10名	新規顧客月 15名
労働環境改善	月1回以上、全従業員での社内研修を実施し、カットだけでなく、ヘッドスパ、メイク、カウンセリング等の知識を従業員間で共有する。	ヘッドスパ等の施術ができる従業員：1名	ヘッドスパ等の施術ができる従業員：全従業員

	現状（注3）	計画期間終了後
営業利益	〇〇〇千円	〇〇〇千円

(注1) 計画期間は「振興事業促進支援融資制度に係る事業計画書」の「本事業計画の目標達成期間」を記載してください。

(注2) 可能な限り、数値を用いてご記載ください。

(注3) 創業前及び創業後1年未満の場合は、見込を記載してください。

3. 実施にあたり、指導を受けている経営指導員等の専門家がいる場合は、その専門家の所属・名前

(所属している機関名)	△△△県生活衛生営業指導センター
(担当者名)	山田 太郎